

障害者が「働くこと」の課題と展望

安原 正

(学生番号：8000079)

ノーマライゼーションの理念を「働く」ことに当てはめると、障害があっても働くことができる社会を目指すことになる。しかし、精神障害者が働くことを考えると、現状はとても厳しい。

本稿では、精神障害者が一般企業で働くことができない理由を検討し、精神障害者が一般企業で働けるようになるために必要なことについて考察した。さらに、新しい取り組みとして始まっているジョブコーチ制度を紹介し、精神障害者が「働く」ことについて展望した。

[キーワード：ノーマライゼーション，精神障害者，一般雇用，ジョブコーチ]